

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	高齢者予防接種助成事業	担当課	保健センター	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	平成24年度～
	施策	健康づくりの推進	種別	法定事務
	基本事業	感染症の予防・拡大防止	市民協働	
予算科目コード	01-040102-20 単独	根拠法令・条例等	予防接種法 守谷市法定外予防接種の実施に関する要綱	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>定期予防接種は、感染症の重症化予防を目的に、予防接種法に基づき実施している。また、任意の高齢者肺炎球菌予防接種は、定期予防接種年齢以外の方に接種の機会を確保し、肺炎による重症化を防ぐことを目的に費用助成を実施している。</p>	<p>医療機関で接種した接種費用の一部を医療機関窓口もしくは償還払いにて助成する。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>予防接種法に基づき、高齢者のインフルエンザの重症化予防及び肺炎の重症化予防を目的とする。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>感染症の予防と啓発に努め、発生とまん延を防ぐ。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<p>肺炎球菌予防接種と同様に、高齢者インフルエンザ予防接種に関しても対象者全員に個別通知を行うことで、希望する方が接種できる環境を整えた。</p> <p>しかし、個別通知を開始した初年度ということもあり、十分に周知が行き届いておらず、通知されていることを知らない、なくした等の問合せが多く見られた。</p>	<p><肺炎球菌予防接種></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報、ホームページで周知（4月） ・定期接種対象者に対し、個別通知の発送（年度当初） <p><インフルエンザ予防接種></p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報、ホームページ等で周知（9月） ・定期接種対象者に対し、個別通知の発送（9月） ・助成券再発行等の受付（10月以降） ・事業内容の評価と次年度の検討、予算反映（11月～）
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
<p>市内公共施設へのポスター掲示、広報、ホームページ等での周知、また特定健康診査会場での周知等を継続して実施する。</p>	

次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	<p>個別通知は今年度同様実施。周知についてはコストを上げずに周知方法を検討する。</p>

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
<p>◆肺炎球菌予防接種 定期予防接種対象者に対し個人通知を実施。</p> <p>◆インフルエンザ予防接種 新65歳のみ個人通知を実施。その他の周知は、広報やホームページ、ポスター掲示のみであった。介護施設等の入所者数の増加により、周知方法の見直しが必要であった。</p>	<p>◆肺炎球菌予防接種 定期予防接種対象者に対し引き続き個人通知を実施。</p> <p>◆インフルエンザ予防接種 対象者全員に個人通知を実施した。その他、広報やホームページ、ポスター掲示でも引き続き周知を実施。</p>

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
インフルエンザ予防接種の接種人数	5,721.00	6,037.00	7,980.00	7,100.00	7,100.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
<p>■向上</p> <p>□横ばい</p> <p>□低下</p>	<p>◆インフルエンザ予防接種 対象者全員に個人通知を実施したため、接種人数に大幅な増加がみられた。</p>				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<p>□拡大</p> <p>□縮小</p> <p>■維持</p> <p>□改善・効率化</p> <p>□統合</p> <p>□廃止・終了</p>	<p>肺炎球菌予防接種、インフルエンザ予防接種ともに対象者への個人通知を今年度同様に実施する。</p>				

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	16,262	16,421	18,774	21,730	21,730
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	16,420	18,693	0	0
	一般財源	16,262	1	81	21,730	21,730
正職員人工数（時間数）		222.00	220.00	263.00	0.00	0.00
正職員人件費		910	919	1,079	0	0
トータルコスト		17,172	17,340	19,853	21,730	21,730